

(29) 佐賀県立九州陶磁文化館 佐賀県 内田祥哉・三井所清典
1982 年度学会賞

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

建築自体は洗練されたデザインであるが、展示は点数が多くやや混乱している。

正面入り口前の広場は、かなり広いが何も利用されていないようである。建物を眺める引きをとるための空間なのであれば、別の設えがあっても良いと思われる。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

敷地が有田駅から南に延びる軸線上にあるのだが、この軸に対して、建築は何ら呼応していない。駅から見えるのは、モニュメンタルな看板（この博物館の看板!）である。建物ではなく、看板がモニュメンタルに軸線上に存在すること自体が、問題を浮き彫りにしている。

建築は、数棟に分かれている。棟と棟の間からは周囲の風景を借景として眺めることができる。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

竣工時の資料を見ると、建築家にとっては建物の位置は与条件で制限されていたらしいが、結果として表れた都市空間には、納得しがたいものがある。駅からのアプローチも良くない。途中でありふれた（みっともない）歩道橋を渡り、巨大なコンクリート法面を眺めながら歩かねばならない。

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



榎文彦が2回目の学会賞を受賞した建築である。しかしその良さが私には理解できない。

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

屋根を支える2本のキールがデザインのポイントとされている。このキールの部分は、外見からはトップライトのように見えるが、体育館内部から見ると、採光されていない。また、客席の外側の張り出し部分には、連続した窓が設けられており、これもデザインのポイントだと思うのだが、内部から見ると、窓は全てカーテンで閉じられている。竣工写真ではキール部分はトップライトになっており、窓も開いていて光が美しいが、実際には閉じられており、機能的にはさして重要でないようだ。このように、機能を持った形のように見えながら、実態は機能を果たしていない点に強い違和感を感じる。

屋根を覆う銀色の金属板は、いかにも薄っぺらな素材という印象で、軽快感を与えるというよりは、貧相な感じを与える。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

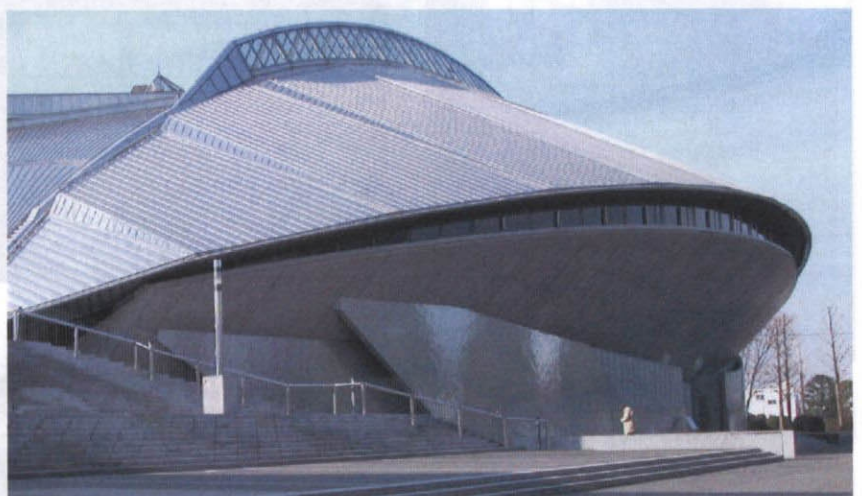
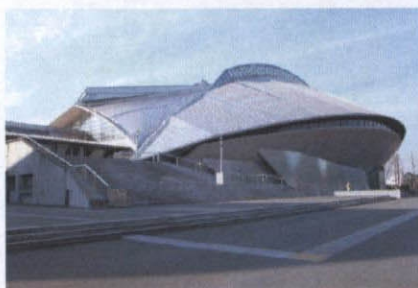
公園のなかに位置する独立した建築であり、典型的な近代建築である。風土や歴史について議論するような建築ではない。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

屋根の施工は困難な工事であったことが記録に残っている。

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

木々に埋もれた建築への長いアプローチは、豊かな内部空間を想像させるに充分である。

(b) 周囲との景観的、空間的関連の果たせ方

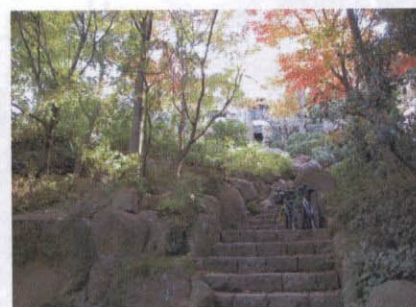
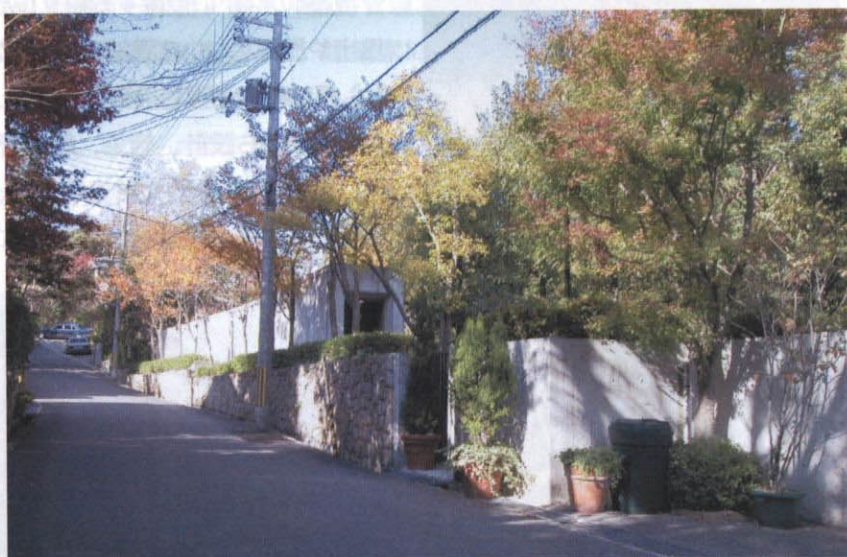
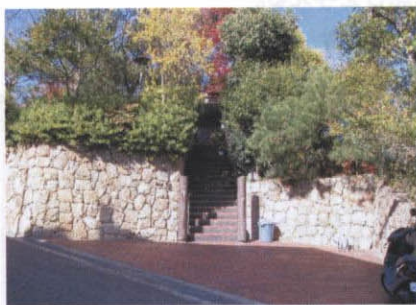
建築家が、ここまで建築の存在感を消し去ることができるということに感動する。作者の自邸もある 12 番坂の建築が、全てこのようなコンセプトであれば、素晴らしい景観が生まれたであろうが、現実には成金的に目立つ建築も多く見受けられることが残念である。とはいえ、一つの優れた建築が、その周囲に同様の建築を生み出すきっかけとなり、街の風景を創造するに至ったことは、大変素晴らしい。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性

一連の住宅の、増築や維持管理なども報告されており、引き続き受賞者が関わり続けていることはすばらしい。

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力 コメントなし

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

高松伸の作品の多くは私の理解を遙かに超えているものが多い。この作品も、圧倒的な印象を与える。建築家の意気込みを感じさせる。きちんとした美意識で、力を入れてデザインしたのだろうと感じさせる。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもとせ方

非常に目立ち、ランドマークとしての価値は大きい。街並みの中で、異彩を放っている。奇抜なデザインであるが、大阪道頓堀の中心地に立地しているため、奇抜さが問題であるとは感じさせない。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性

商業建築なので、耐久性について議論すべきものではないと思われる。

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

竣工当時は、1階は待ち合わせによく利用されるパブリックなスペースだったのだが、いまはレストランなどができて占有されているのが惜しまれる。

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(33) 小国町における一連の木造建築 熊本県 葉祥栄 1989 年学会賞

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

「ゆうステーション」から「小国ドーム」まで、木造トラスの構造を進歩させた功績が評価できる。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

地場材料である木材を用いて、木造トラスの美しさが素晴らしい建築を作っている。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

葉祥栄の活動がきっかけとなって、小国町には優れた建築が多く生まれている。町の建築のレベルを全体的に向上させたところが素晴らしい。一つの文化を創り上げたといっても良いのではないかな？

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

内部空間にいたるまで、徹底的に打ち放しが多用されており、建築費用はさわめて安かったということである。

建物内部の動線は複雑で分かり難い。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもとせ方

沖縄県出身者が初めて学会賞を受賞したものであり、沖縄らしいコンクリート打ち放しの建築である。しかし、名護市庁舎のように地域の文化的コンテクストの豊富な表現はなく、どちらかといえば近代建築の部類である。

丘の頂上に聳えるように建設されており、麓から見ると要塞のようにも見え、世界遺産の沖縄の城が丘の頂に建設されていることを連想する。隣の山の上には、琉球大学があるが、こちらはあまり特徴のない RC の建物で、沖縄キリスト教短期大学のほうが、はるかに文化的価値が高い。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力 コメントなし

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

建築外構や、プロムナードの舗装はタイルで仕上げられているが、雨の日には滑りやすい素材でやや危険であった。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

非常に個性的な形をした建物である。周囲は、ありふれた住宅地であり、そこから垣間見える武道館は、かなり違和感がある。

もしこの建物が、運動公園の中にあり、広いグラウンドに囲まれた独立した建物であれば、その方がずっと良かっただろう。運動公園のためにデザインしたものが、何かの間違いで住宅地にできてしまったという印象を与える。

駅からプロムナードを通して武道館までが統一したデザインとなっており、その点は評価できる。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力 コメントなし

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

建物のデザインでは、画一的なところがほとんど皆無であり、様々な良く練られたデザインが所狭しと盛り込まれている。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもとせ方

山と川の中の傾斜地という立地を上手く活用し、地形になじんだ形態とスケールの建築である。学校の前面には川があり、おそらく親水性を考えて、階段護岸となっているのだと思うが、そのデザインはお粗末で、土木技術者も建築家に負けなだけのデザインの力量を身につけるべきであることを痛感する。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

受賞者に建築計画の担当者が含まれていることが、この建築の特徴を象徴している。

(e) 意志決定の柔軟なシステム

この建築の価値は、設計密度の高いハードウェアにもあるが、ソフトウェアの点でも高く評価できるものである。地域の学校のあり方について、非常に充実した住民参加による検討が行われ、それが空間に結びついていることは高く評価できる。



(37) シャープ労働組合研修レクリエーションセンターI&Iランド 大阪府 瀧光夫 1992 年学会賞

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

狭い空間でも開口からの眺めが良く、窮屈さを感じさせない。かなりローコストにデザインされているが、安っぽいというよりリーズナブルな印象を与える。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

建物と自然との調和が素晴らしい。建築内外が複雑に絡み合い、建物内部から外部や中庭の緑がよく見える。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力 コメントなし

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし

